2016 神戸 の 春アルバム
早春から春爛漫に 春を駆ける
By Mutsu Nakanishi

満開の花をつけた枝を　精一杯広げる桜に　人それぞれ　思い出がある
神戸の市街地 再度山山裾の高台　水の科学館(奥平野貯水池)
樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけました　2016.4.4.

満開の花をつけた枝を　精一杯広げる桜に　人それぞれ　思い出がある
神戸の市街地 再度山山裾の高台　水の科学館(奥平野貯水池)
樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけました　2016.4.4.

春爛漫　新しい出会いと出発へ　日々新た
老いてはいられない　　前向いて　　一歩を踏み出して

2016年4月　by Mutsu Nakanishi

どこかで　春が生まれてる　新しい出会いと出発の4月を迎える

花の香りが漂う春に胸膨らませ、仲間の元気を活力に !!

時には助けてもらいながら　わが道を前向いて

3月27日はイースター　・　復活日

毎年 復活日が来るとキリストの受難に思いをはせ、
自らをふりかえり、わが身に感謝し、
家族・仲間 そして地球の人たちへと思いをはせる

希望の明日そして世界平和を春の花に込めて
「神ともにいまして」との思いもあらた
新しい出発を誓う

2016.3.27.

Mutsu　Nakanishi　from Kobe

「希望」「愛」「優しさ」

アーモンドの花の香りが漂う春

春の妖精　カタクリの花　2016

花言葉は「初恋」・「耐える」

地球氷河期の生き残り
８年かけて地表に顔を出し
山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせ
て立ち向かう姿に心を揺さぶられる

今年も元気な姿に出会えました

桜の便りが届きだすと毎年出会いに行く
佐用たたらの里のカタクリの花

春一番の楽しみ　カタクリの花との出会い
その愛らしい姿にじつと目を凝らす

千種川が流れ下る西播磨佐用町　三日月町「弦谷」＆ 東徳久 殿崎　カタクリの群生地で　2016. 4. 5.

2016年　春のアルバム［1］

神戸の春の風物詩「イカナゴ」　解禁が遅れ　3月7日解禁

今年は暖冬がたたって　大阪湾の水温が高く、大阪湾を回遊するイカナゴの稚魚が極端に少なくて不漁に。
高値を呼んで　毎年　店先のイカナゴを求める行列も　例年ほどにはならず
イカナゴの釘煮の話題で盛り上がる例年の街の輪も、今年は不発。
首をかしげながらも　春を感じたくて「くぎ煮」は炊き、　また「新子のかまあげ」「くぎ煮」で一杯　うれしい晩酌です

2016年　春のアルバム［1］

イカナゴは夏眠する珍しい魚

神戸の春の風物詩「イカナゴ」
今年は暖冬がたたって　大阪湾の水温が高く、
大阪湾を回遊するイカナゴの稚魚が極端に少なく、不漁。
高値を呼んで　毎年神戸ではイカナゴの釘煮の話題で
盛り上がるのですが、今年は不発。
でも、店先には例年ほどではありませんが、
釘煮にするイカナゴを求める行列ができていました。

2016.3.12.　明石魚の棚で

ところで 「イカナゴは1年の半分近くを寝て過ごす夏眠する修正を持つ珍し魚いだ」と砂の中から頭を出す写真入りで新聞に掲載されていました。
　イカナゴは、もともと寒い北の海の魚で、お正月前後が産卵期　卵は明石海峡や紀淡海峡近くの海底の砂つぶに産み付けられ、10日ほどでふ化。 海の流れに乗って大阪湾内に広がり、海中のプランクトンを食べながらぐんぐん大きくなり、2月下旬から3月初めになると、体長3cm程に成長。 それを待って　春の風物詩イカナゴ漁が始まるのだと。
　生き残ったイカナゴは　水温が高くなる6～7月頃になると、体力の消耗を避けるため、
　海底の砂の中に潜って活動を停止する。これを「夏眠」と呼ぶという。
　イカナゴはそれ以後　餌も食べず、12月まで砂の中でじっとしている。

この習性は、彼らが北の海から南へ分布を広げるために身につけた、暑い夏を乗り切るすばらしい戦略。
そして、12月頃になって水温が下がってくると、イカナゴは砂の中から出てきて、産卵をおこない、満1才で親になるという。

今年は　一説によると今年は大阪湾の海水温が高いために、大阪湾に入るイカナゴが極端に少なくなったのだと。
無数のイカナゴが砂から頭を出している写真を見ながら
　「イカナゴは生き延びるため　すごい戦略を持っているのだ」と
いまさらながらびっくりし、同時に　暖冬は大阪湾のイカナゴ漁には　敵なんだと。
高山植物やカタクリなどの植物の生き残り戦略の話はよく聞きいて
知っていましたが、魚にも　こんな生き残り戦略がある。

兵庫の春の風物詩　兵庫室津の殻付き牡蠣

今年も家内の友達から　室津の牡蠣を送っていただき、うれしい焼き牡蠣が食卓に上りました。
仲間が一杯やりながら　「兵庫の春はイカナゴというが、室津や日生海岸の牡蠣を焼いて食べるのが一番」という。
私の高校時代の友人もいつも「日生の牡蠣食べに行こう」といってたなぁ…と。

３０分ほど待って　海の駅で焼き牡蠣にして味わう　　そして　殻つきの牡蠣を土産にも　**2010.3.14.**

参考　西播磨 歴史の町に春を訪ねる 西播磨綾部山梅林と江戸の町並みが残る坂越港　赤穂市坂越 2010. 3. 14.
http://www.infokkkna.com/ironroad/2010htm/2010walk/10walk01.pdf

大阪散歩　2016.3.15.　　狂言を鑑賞する会の切符抽選に当たって　久しぶりに家内と大阪散歩

茂山万作・萬斎　二人会

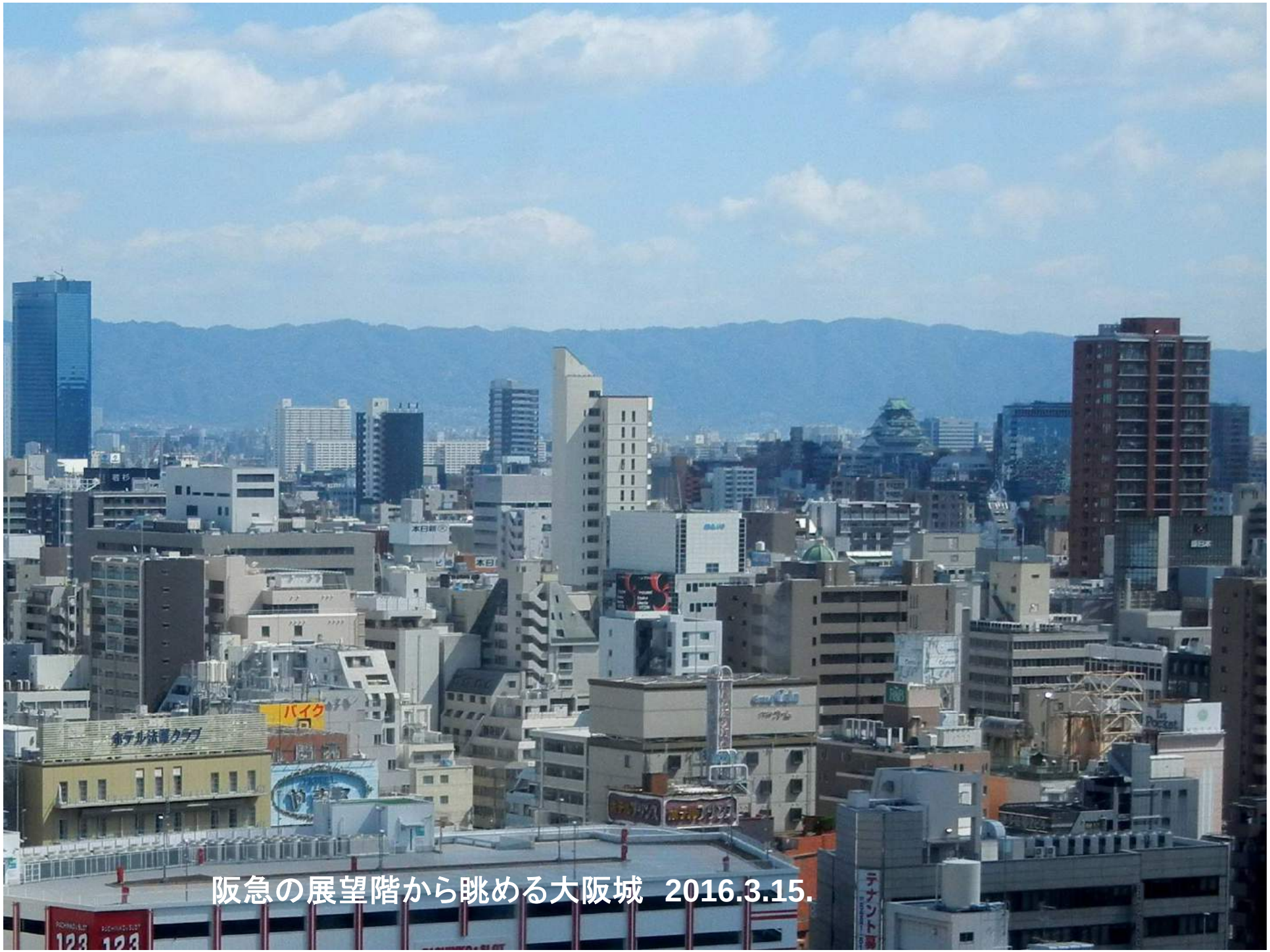
静まり返った空間を切り裂く笛
よぉ～♪との大きな掛け声とともにポンと鼓の音
久しぶりに聞く狂言の始まり　なんとも心地よい。
この一瞬だけでも　狂言鑑賞の価値があると思う。

演目は「三番叟」と「「二人袴」
久しぶりの狂言鑑賞　すぅ～と気分爽快に

天気はぽかぽかの春陽気　前後する時間　　家内と二人　大阪散歩　新しく建て替わった阪急ビルに初めて行きました。
また、大槻能楽堂のすぐそば　大阪　法円坂・難波宮跡の広い空間を家内は知らぬという。、

大阪駅前の阪急ビルが新しくなって　初めて　家内に呆れられながら
阪急の展望階から眺める御堂筋　2016.3.15.

阪急の中に　こんな空間があるのにびつくり　お上りさんです2016.3.15.

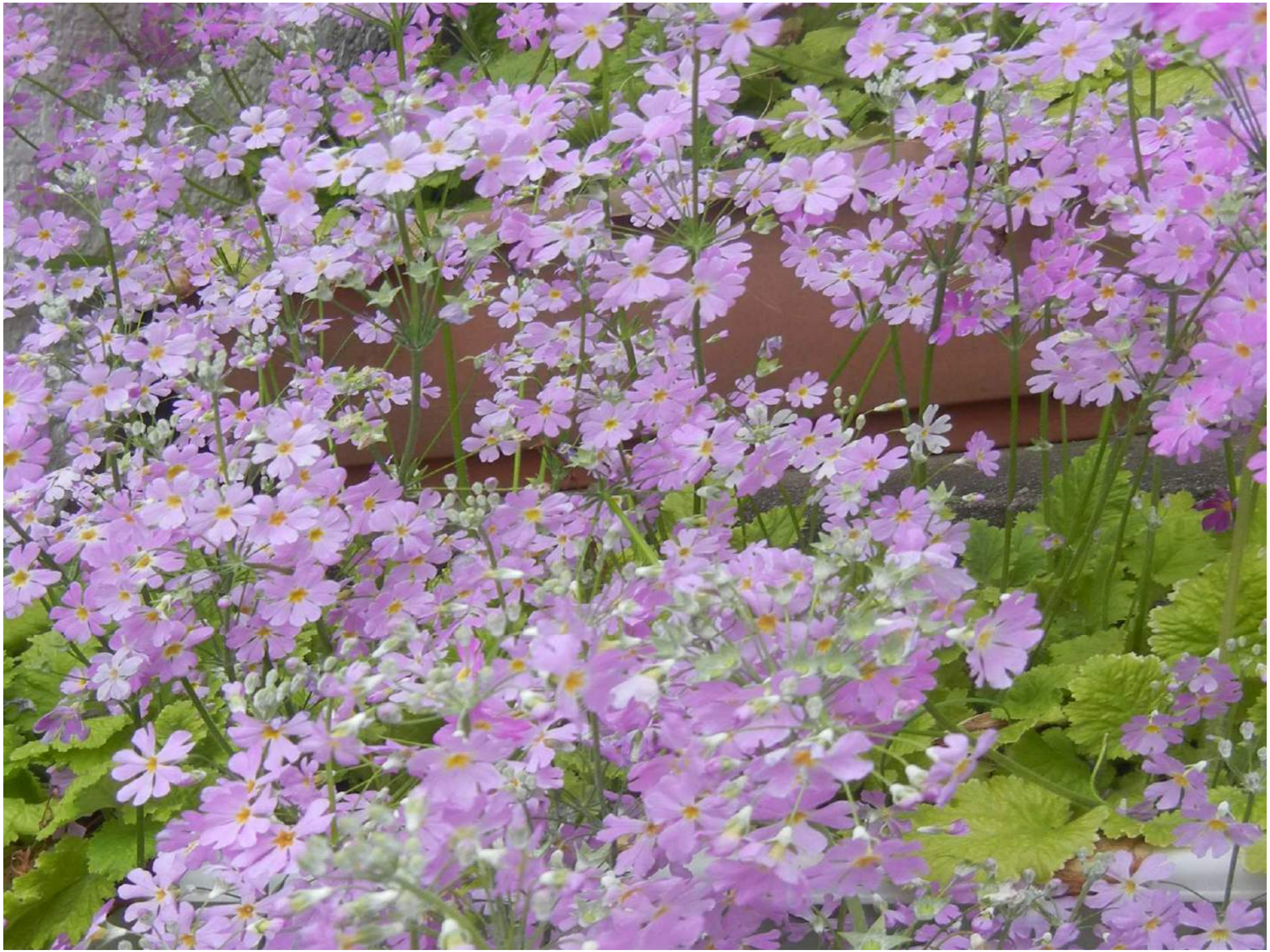


阪急の展望階から眺める大阪城　2016.3.15.

大阪城･NHKのすぐ前　東の森ノ宮へ法円坂を上る一帯　難波宮跡公園　2016.3.15.

難波宮跡公園から北のNHK放送会館を眺める　2016.3.15.

難波宮跡公園から北　大阪城　天守閣がちらっとみえる　2016.3.15.



一度歩いてみたかった　桂川･宇治川･木津川の
合流点　淀川の背割堤　2016.3.16.

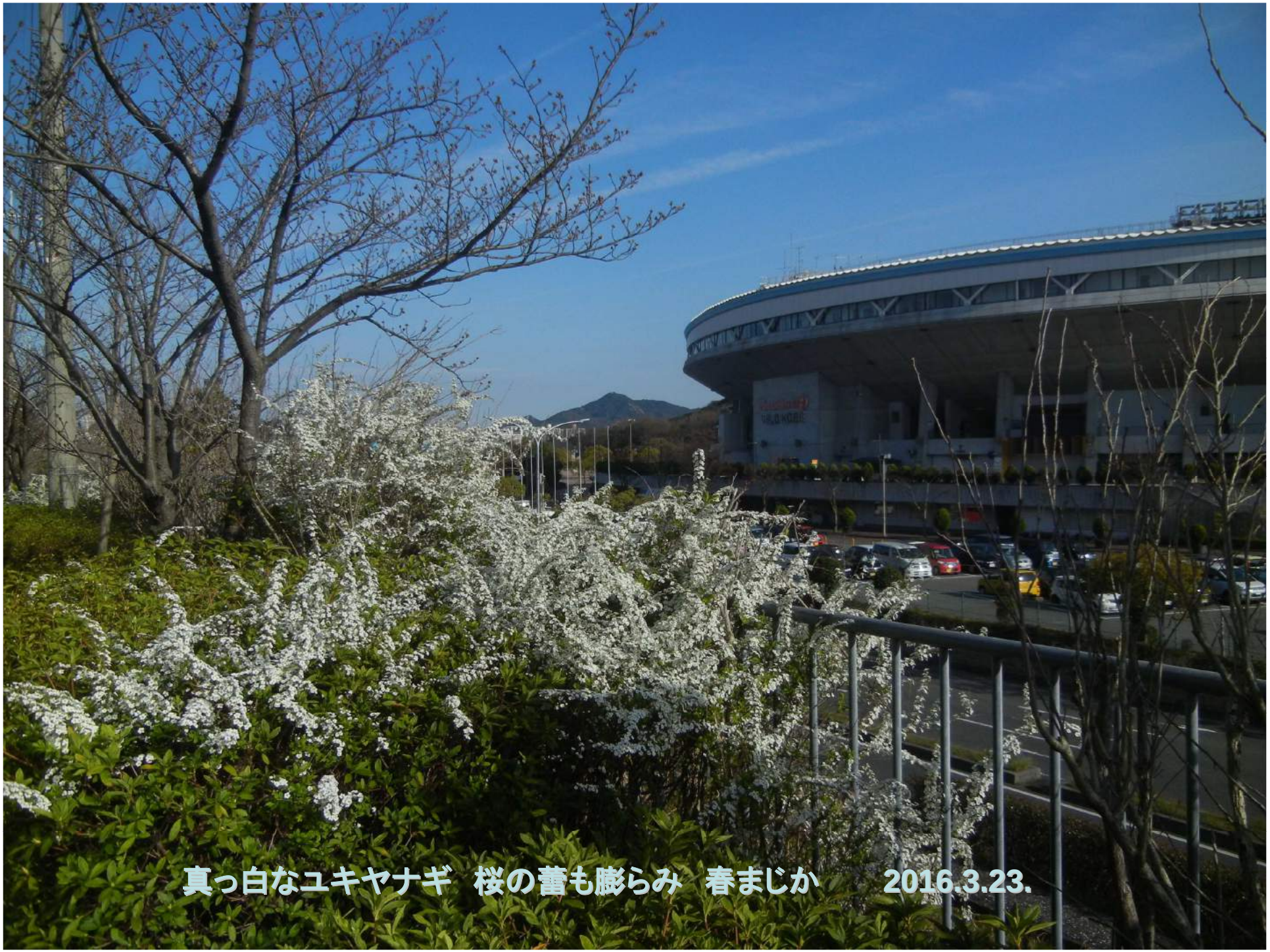
1.4kmにわたって　淀川の合流点の中州に築かれた堤
今は鶯がのどかに　鳴き声の練習中　もう春がすぐそこ

でも　4月には左写真のように桜のトンネルに

1438x591

三川の合流点側　ここから南へ　淀川となって下る

啼く練習しているのは鶯　こんな鳥もいました


真っ白なユキヤナギ　桜の蕾も膨らみ　春まじか　　2016.3.23.

私の住む妙法寺地区　幕末神戸開港に一役買った「神戸石炭」の産出地!!

初めて聞く話にびっくり、地図を頼りに谷筋を歩く　2016.3.17.　神戸新聞記事

幕末に脚光、開港と密接な関係

幻の神戸石炭 ひもとく史料

鉱脈の絵地図、現物など初展示

市立博物館で特別展

幕末から明治時代にかけて神戸市須磨区の高取山周辺にあった炭鉱の資料が、同市立博物館（同市中央区）の特別展「須磨の歴史と文化展」で公開されている。鉱脈の絵地図や

炭鉱は、現在の神戸、江戸幕府が主導し、神戸市須磨区東、西区妙法寺、戸への外国船の寄港を寺の一帯に広がっていたとされ、1857（安政4）年に最古の開発記録が残る。採掘は60年代に本格化したとみられ、この頃の絵地図には鉱脈や坑道の入り口が記されている。

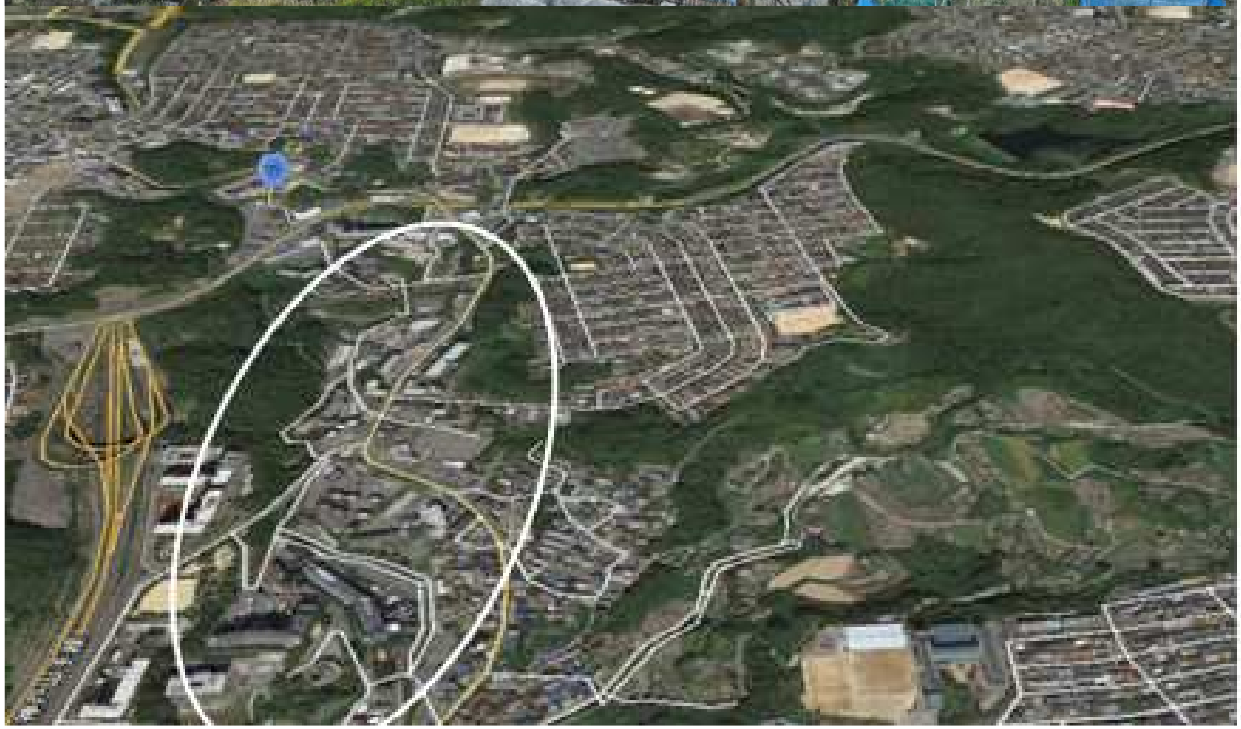
同館や「神戸市史」によると、欧米諸国の開国の圧力が強まり、

発掘記録の経ま、1990年代に工事現場で採掘された石炭の現物など所蔵等の点で、同館では初めての展示。150年ほど前の神戸開港に深くかかわり、人知れず姿を消した「神戸石炭」の存在が浮かび上がる。（小川　晶）

明治政府の事業を編集された兵庫県史料では、須磨区東、妙法寺周辺とみられる「生田谷」や「清水谷」で採掘の記録があるが、

少なくとも10年以上採掘が続いていたことなどが指摘されている。

特別展では、その後、業績の人物や採掘量を明示した図面など約85（同118）年前後産出した石炭は、実



石炭坑のある場所

車村字堂谷　妙法寺村字清水谷＆字竹向

この字名は今も地元に残っています

トンネルを出た山陽新幹線が石炭を産出した谷を渡ってゆく

妙法寺川が流れ下る若草山南

どこかで　春が生まれてる　新しい出会いと出発の4月を迎える

花の香りが漂う春に胸膨らませ、仲間の元気を活力に !!

時には助けてもらいながら　わが道を前向いて

3月27日はイースター　・　復活日

毎年 復活日が来るとキリストの受難に思いをはせ、
自らをふりかえり、わが身に感謝し、
家族・仲間 そして地球の人たちへと思いをはせる

希望の明日そして世界平和を春の花に込めて
「神ともにいまして」との思いもあらた
新しい出発を誓う

2016.3.27.

Mutsu　Nakanishi　from Kobe

「希望」「愛」「優しさ」

アーモンドの花の香りが漂う春

西神戸　性海寺の里で　土筆とり　2016.3.26.

何やかや　ばたばたで　遅れていた土筆とりを　3月26日　もう　はよいかんとスギナになってしまうと。
我々だけの土筆の群生地で

ちょっと遅かったのですが、
まだ　沢山つくしが残っていました。

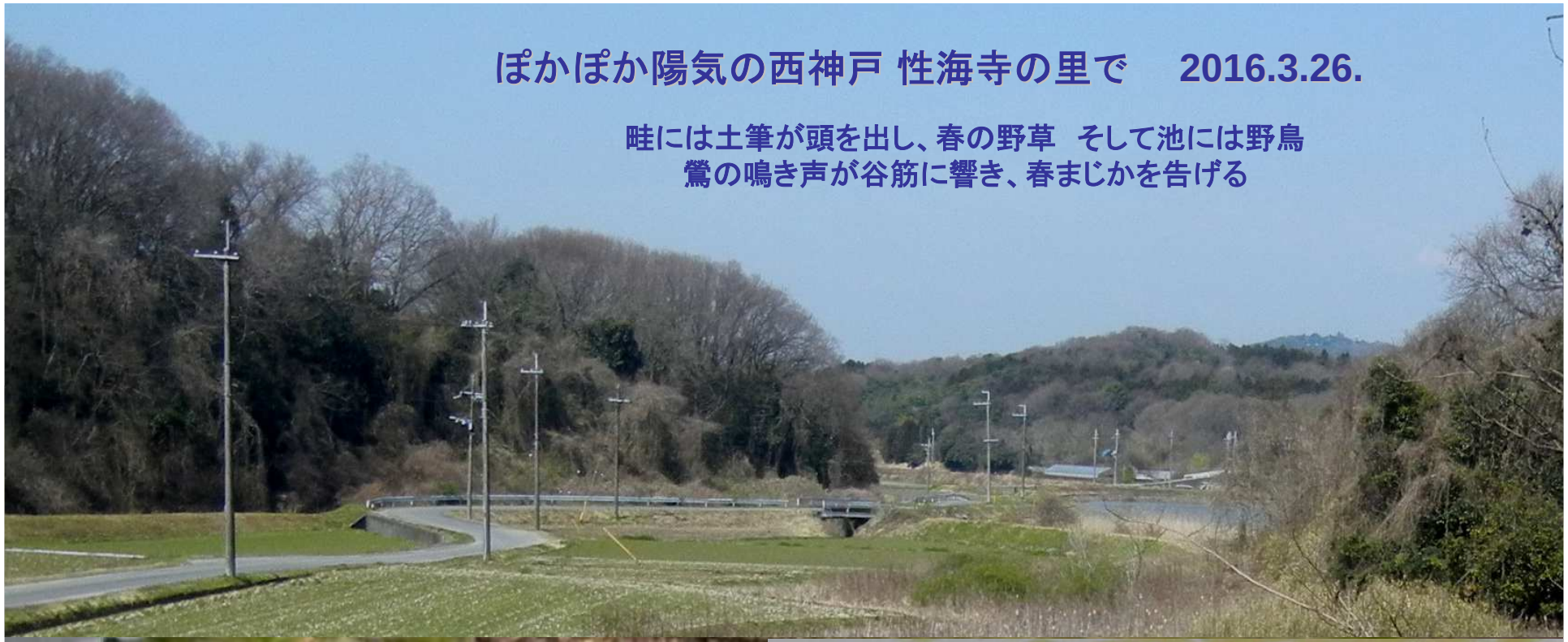
西神戸の田舎　高和　性海寺　　2016.3.26.

西神戸の田舎　性海寺の里で　土筆とり　　2016.3.26.

西神戸の田舎　性海寺の里　春　野草の花　　2016.3.26.

ぽかぽか陽気の西神戸 性海寺の里で　2016.3.26.

畦には土筆が頭を出し、春の野草　そして池には野鳥
鶯の鳴き声が谷筋に響き、春まじかを告げる



池から舞い上がった鷺

ペアーの鴨が池をのんびりと

西神戸の田舎　性海寺の里　春　野草の花　　2016.3.26.

西神戸の田舎　性海寺の里　春　野草の花　　2016.3.26.

西神戸の田舎　性海寺の里　春　野草の花　　2016.3.26.

久しぶりに甲子園アルプス席で孫を連れて観戦　2016.3.24.

大会5日目　岡山創志学園　一番上の孫の高校の姉妹校　元気に応援に出かけ、
三重 いなべ総合は息子の嫁の実家の里の高校　そして　長田は息子の高校
孫を連れて応援に。

応援3校とも3塁側　学校応援席アルプスで学生たちに混じって　１日応援。
高校へ入った年に私の高校も選抜に出場　アルプス席での応援は今もありありと。
高校時代の仲間が集まると　今も決まって甲子園の話で盛り上がる。
孫たちの頭にも　きっと　甲子園での応援の　うれしい場面　悔しい場面みんな
きっと　この記憶がづっと残るだろうと…。

2016.3.24.　大会5日目

第1試合	創志学園（岡山）	5—1	東海大甲府（山梨）
第2試合	いなべ総合（三重）	6—7	高松商（香川）
第3試合	長田（兵庫）	2—3	海星（長崎）

SSK
Mizuno
SEDIA
LAWSON
Joshin
LOTTE
SHIMANO
Panasonic

SOSHI

NISAを
始めるなら、
三菱東京UFJ銀行
Asahi
住宅用火災警報器
ホーチキ
関西ペイント
SSK
MITSUBISHI ELECTRIC
オールスポンサー
SEDIA
MIZUNO
アリナミンV
一番搾り
SUNSTAR
G·U·M
Panasonic
ほけんの窓口
INABE

明治安田生命
日本エスリード
大日本塗料
ソウリック
コーポレーション
お茶
LIXIL
統合業務ソフトウェア オービック
山九SA

春爛漫　神戸でも　桜も咲き始めた　2016.3.29.

農園の畑には春の香り　近郊田園も活気ある春に　2016.3.29.朝

近郊の市民農園の畑も春の目覚め　春野菜が育って　　伊川谷で　2016.3.29.朝

朝採りイチゴの出荷も最盛期　　今年も香港にも並ぶと聞く
伊川谷　森本さんのハウスで　　2016.3.29.
いちご

野菜の出荷作業が続くハウスの中　　西神戸　伊川谷で　　2016.3.29.朝

桜が咲き始めた東播磨　稲美中央公園周辺で　　2016.3.29.

桜が咲き始めた東播磨　稲美中央公園で

稲美中央公園で　　2016.3.29.

2016.3.29.　桜が咲き始めた東播磨　稲美中央公園で

グランドゴルフ　テニス　ゲードボール　そして　桜の散策に
普段着の公園に　こんなに多くの高齢の人達が出ているのにびっくりでした　　**2016.3.29.**

神戸でも桜が満開になり、市街地の再度山麓に位置する
水の科学博物館(平野浄水場)の「舞桜」も満開に
神戸市中央兵庫区　再度山麓矢部町　再度谷川の桜並木周辺　　2016.4.4.
諏訪山　レインボーブリッジから眺める
「舞桜」のある水の科学博物館は見えていないが、右手グランドのすぐ下に

水の科学博物館の横を流れ下る再度谷川岸の桜並木　　神戸市兵庫区で

水の科学博物館の横を流れ下る再度谷川岸の桜並木　神戸市兵庫区で

神戸市兵庫区　水の科学博物館　入口　　2016.4.4.

春爛漫　神戸 奥平野の舞桜も満開に　2016.4.4.

春爛漫　神戸 奥平野の舞桜も満開に　2016.4.4.

再度谷川の桜並木　2016.4.4.

水の科学博物館　2016.4.4.

再度谷川沿い大師道を遡って　再度山大竜寺へ　2016.4.4.
再度山の山桜を眺めに行く

再度谷で　再度山の山桜　2016.4.4.

再度山ドライブウェイで　再度山の山桜　2016.4.4.

再度山ドライブウェイで　レインボ-ブリッジの上から市街地を眺める　2016.4.4.

諏訪山レインボーブリッジから　神戸市街地を眺める　2016.4.4.

神戸市中央兵庫区　再度山麓矢部町　再度谷川の桜並木周辺　　2016.4.4.
諏訪山　レインボーブリッジから眺める
「舞桜」のある水の科学博物館は見えていないが、右手グランドのすぐ下に

レインボーブリッジから　市街地西部　明石海峡から西六甲の連山を眺める　2016.4.4.

一番出会いたい春の妖精「カタクリ」の花　　西播磨佐用のカタクリの花群生地へ

春の妖精　カタクリの花

花言葉は「初恋」・「耐える」

地球氷河期の生き残り
８年かけて地表に顔を出し
山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせて立ち向かう姿に心を揺さぶられる

桜の便りが届きだすと毎年出会いに行く
佐用たたらの里のカタクリの花

神戸の舞桜を眺めた翌日　同じ佐用の一本桜「糸桜」と合わせて訪ねました

春一番の楽しみ　カタクリの花との出会い
その愛らしい姿にじっと目を凝らす

春のたたらの里　西播磨佐用町徳久を流れ下る千種川　　2016.4.5.

西播磨佐用町 漆野　光福寺　樹齢300年を超す大糸桜　　2016.4.5.

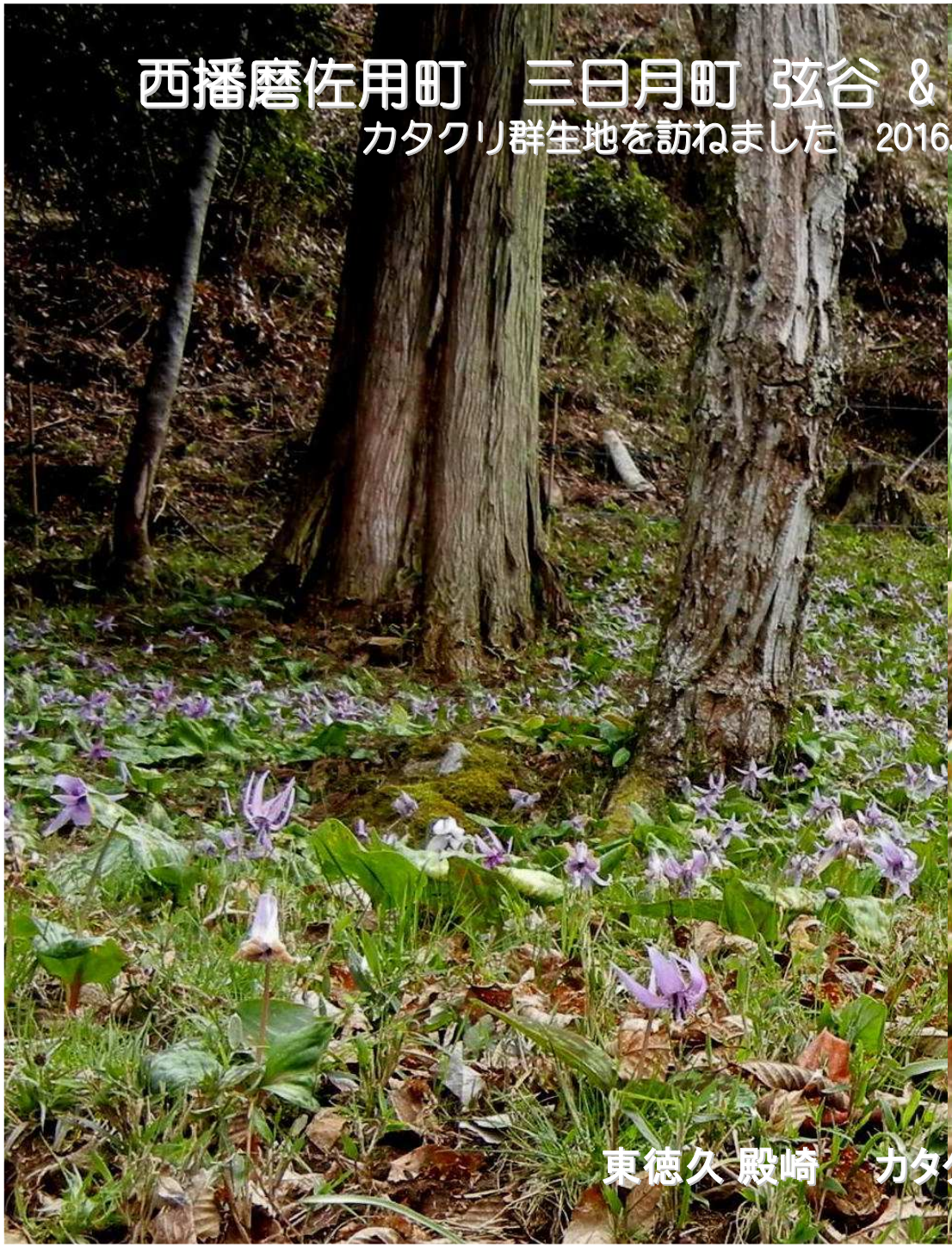
西播磨佐用町 漆野　光福寺　樹齢３００年を超す大糸桜　2016.4.5.

西播磨佐用町 漆野　光福寺　樹齢300年を超す大糸桜　　2016.4.5.

西播磨佐用町旧三日月町　姫新線に沿って流れる志文川堤の桜　2016.4.5.

西播磨佐用町　三日月町 弦谷 ＆ 東徳久 殿崎

カタクリ群生地を訪ねました　2016. 4. 5.



東徳久 殿崎　カタクリ群生地で　2016.4.5.

東徳久 殿崎　カタクリ群生地で　2016.4.5.

東徳久 殿崎　カタクリ群生地で 2016.4.5.

旧三日月町弦谷　カタクリ群生地で 2016.4.5.

旧三日月町弦谷　カタクリ群生地で　2016.4.5.

西播磨佐用町旧三日月町　姫新線に沿って流れる志文川堤の桜　2016.4.5.

春の妖精　カタクリの花　2016

花言葉は「初恋」・「耐える」

地球氷河期の生き残り
８年かけて地表に顔を出し
山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせ
て立ち向かう姿に心を揺さぶられる

今年も元気な姿に出会えました

桜の便りが届きだすと毎年出会いに行く
佐用たたらの里のカタクリの花

春一番の楽しみ　カタクリの花との出会い
その愛らしい姿にじつと目を凝らす

千種川が流れ下る西播磨佐用町　三日月町「弦谷」＆ 東徳久 殿崎　カタクリの群生地で　2016. 4. 5.

春爛漫　新しい出会いと出発へ　日々新た
老いてはいられない　　前向いて　　一歩を踏み出して

2016年4月　by Mutsu Nakanishi

満開の花をつけた枝を　精一杯広げる桜に　人それぞれ　思い出がある
神戸の市街地 再度山山裾の高台　水の科学館(奥平野貯水池)
樹齢約70年の大きな一本桜「舞桜」が、今年も満開の花をつけました　2016.4.5.

2016神戸 の 春アルバム
早春から春爛漫に　春を駆ける
By Mutsu Nakanishi